

第7期 第11回「中央区自立支援協議会」議事要旨

1 日時 令和6年1月26日（金） 午後6時30分から午後8時00分まで

2 会場 中央区役所本庁舎 8階 大会議室

3 議事

- (1) 中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画について
- (2) 部会からの最終報告について
- (3) 第7期自立支援協議会の最終報告書（案）について

4 出席者

委員 14名

是枝会長、齋藤副会長、上田委員、前場委員、室田委員、箱守委員、小笠原委員、薩埵委員、佐藤委員、田村委員、丸物委員、大久保委員、渡瀬委員、生島委員

事務局 10名

岡田障害者福祉課長、木曾福祉センター所長(子ども発達支援センター所長兼務)、鈴木障害者福祉係長、龍相談支援係長、川原給付指導係長、水村管理係長、佐藤支援係長、小林発達支援係長、安倍事業調整担当係長、障害者福祉係辻村主事

傍聴人 0名

5 要旨

(1) 中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画について

(岡田障害者福祉課長より説明)

○中央区障害者計画・第7期中央区障害福祉計画・第3期中央区障害児福祉計画（資料1-1）

【質疑・意見等】

- (齋藤副会長) 計画書18ページの疾患別精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移について、令和5(2023)年の交付者数を1,268人へ修正されたとのことだが、依然として令和4(2022)年度との差が大きい。特に「その他」が全体の3分の1強を占めているが、その内訳は何か。
→ (岡田障害者福祉課長) 高次脳機能障害、アルコール障害などである。
(齋藤副会長) 次回からは、高次脳機能障害、アルコール障害等も表記したほうが、よりわかりやすいと思う。
- (佐藤委員) 全国の人口が減少傾向にある中で、中央区は人口増加を見込まれているがその理由は何か。
→ (岡田障害者福祉課長) かつて7万人を割る状況であったが、区の人口回復施策の効果に加

- え、晴海フラッグなど晴海地区のマンション建設が人口増の要因となっている。
- (大久保福祉保健部長) 近年は共働き世帯が多くなり、職住近接のニーズが高まり、都心に住まいを求めている人が増えている。中央区では、これまで中間所得層が住みやすいまちづくりを住宅施策として進めてきた。それによって中央区が選ばれ、人口増につながっていると捉えている。
- (是枝会長) 人口増の中には、障害者も含まれていると思われ、それが障害者手帳所持者数の増化傾向に現れていると思う。
- (佐藤委員) 就労選択支援について、令和6年度開始予定となっているが、厚生労働省の研修で、事業内容や対象となる事業者について尋ねたが方向性が決まっていない状況だった。何か情報があれば教えていただきたい。
- (岡田障害者福祉課長) 厚生労働省からの資料は確認しているが、具体的な内容についてはこれからである。サービス実施においてアセスメントを活用する点は承知している。
- (上田委員) パブリックコメント結果に関して、パブリックコメントのご意見の中に重症心身障害と重度心身障害と出てきているが、それぞれの定義はどうなっているのか教えていただきたい。資料2-2の4ページ、No.16のご意見で、重症心身障害と重度障害の言葉が出てきているが、区において、用語の整理が必要だと思った次第である。
- (岡田障害者福祉課長) 計画書の155ページ、用語集にて重症心身障害の用語解説を掲載している。重症心身障害は、重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複しているものである。一方、重度障害の用語解説はないが、障害が重複していない方である。
- (是枝会長) パブリックコメントで意見を寄せた方がどのような意図で使い分けをされたかは不明だが、一般的に厚生労働省では、「重症心身障害」の用語が使われている。教育現場の言葉としては「重複障害」とも表現される。パブリックコメントの回答としては、事務局の案の形で良いと思う。
- (箱守委員) 区内に福祉避難所は、どのくらいあるのか教えていただきたい。
- (岡田障害者福祉課長) 区内福祉避難所のうち障害者対象は、福祉センターとレインボーハウス明石の2か所となっている。高齢者対象の施設を含めると計17か所となる。
- (是枝会長) 障害者、高齢者自身が、福祉避難所の場所を知っていることが大事である。本計画をはじめ、色々な媒体を通じて、福祉避難所など災害時の避難場所を周知していくことは重要である。

(2) その他について

(岡田障害者福祉課長より説明)

- ・意見がある場合は意見票の提出をお願いする。
- ・次回の第8期第1回は4月下旬から5月上旬を予定している。

以上